

教育映像祭優秀作品賞受賞

女性必見ビデオ！

壮年女性(40才代)に多い乳がん

がんは早期発見、早期治療すれば克服できる病気です。

# 『がんは怖い・でも怖くない』

## — 乳がん —

「がん」は患者、医師、家族の闘いです。



監修  
済生会中津医療福祉センター  
総長 斉藤 洋一



指導  
大阪市立大学大学院研究科  
教授 井上 正康



企画 中井 保  
製作 八頭司 享  
監督 内澤 豊

ナレーター 安部 憲幸  
浦島三和子

制作協力  
大阪府済生会中津病院  
大阪市立大学大学院医学研究科  
国際保険(株)

撮影協力  
ABCゴルフクラブ  
祇園

プロデューサー/八頭司重信 脚本/和田健裕 撮影/林 健作 照明/稲津 武 録音/田中喜昭 整音/山川暢之 制作デスク/中井康博 編集/中山 裕 進行/八頭司英三

制作・著作  
(株)IBS  
共和教育映画社

# がんは怖い・でも怖くない

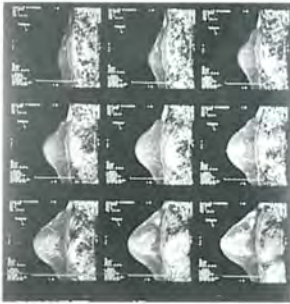
## — 乳がん —



企画 中井 保  
製作 八頭司 享  
監督 内澤 豊

ナレーター 安部 憲幸  
浦島三和子

プロデューサー/八頭司 重信 脚本/和田健祐 撮影/林 健作 照明/稲津 武 録音/田中 喜昭 整音/山川暢之 制作/デスク 中井康博 編集/中山 裕 進行/八頭司 英三



昭和56年(1981)以後、わが国の死亡原因の1位を占めるがん。

高齢化がすすむ日本では、ますますがんの発症が増えています。

今、この瞬間も、がんと闘う患者、医師、家族も同じように患者の気持ちになり闘いが続いているのです。

がんを克服して、充実した生活を取り戻した植松美喜子(59才)さんは、飲食店を経営する傍ら二人の子どもを育て、女将として25年間も走り続けてきました。そんな植松さんが、突然背中に激痛を訴え救急車で病院に運ばれたのです。診断の結果、異常はみつけられず大事に至りませんでした。

しかし、その3ヶ月後、済生会中津病院の人間ドックで、がんが見つかり、第5期の乳がんとして宣告を受けたのです。

「手術は乳房全摘出手術で、女でなくなるのかなあ…と、すごくつらかったです。でも再発が怖かったので先生に全てをお任せしました。」と語る植松さん。

苦しい闘病生活を経て、また、がんの再発・転移の不安のなかで元気になられた植松さんは、今日も仕事に興味にと充実した人生を楽しんでおられます。

### 済生会中津医療福祉センター 総長 斉藤洋一先生は語る

がんは早期発見して治療すれば怖いものではありません。

早い時期に発見できるがんとして、胃がん・大腸がん・子宮がんそしてこの乳がんなどがあります。

本例でも、人間ドックで偶然がんが見つかり、そしてがんにも真直面から立ち向かい、しっかりと治療された。

こういう方の生き様から色々教えられるものがあるのではないかと思います。

### 大阪市立大学大学院医学研究科 教授 井上正康先生は語る

女性特有のがんの中で子宮がんは減少傾向にあるにも係わらず、乳がんは逆に増加していることから乳がん対策は非常に大切である。

特に乳がんは遺伝的要素が高いので、身内で乳がんにかかった経験のある方は、自分も罹る可能性が高いと考え、40歳台前後には乳がん検診を受けて頂きたい。また、近年は医学の進歩により、乳房温存治療も増えています。

販売価格 ビデオ・DVD ¥36.750 上映時間 17分



## 共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111

延原倉庫淡路物流センター

TEL06-6322-1800 FAX 06-6322-2255

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail [avl@kyowafilm.com](mailto:avl@kyowafilm.com)